**にいがた協同ネット２０１８年度　第７回運営委員会議事録**

1. **開催日時：2018年10月29日（水）15：00～16：55**
2. **開催会場：新潟市中央区東万代町　万代市民会館４階、４０９研修室**
3. **参加者：渡邊、江花、高見・武田、斎藤、袖山、中村事務局、重野、山田、阿部**
4. **同席者：田嶋康利（労協連専務理事）**

　　渡邉代表挨拶の後、NPO法人「もやい」大西理事長・加藤事務局長が表敬挨拶を行った。その後、労協連田嶋専務理事が「協同労働の協同組合」法制化の現局面について、資料に基づき報告・説明を行った後、開会した。

1. **議事**

**1．2018年度ワーク&ライフフォーラムin上越参加報告について**

　　　・事務局中村より、セッション開催状況並びにフォーラムに関わる収支報告を行い了承された。

1. セッション開催状況

研修室の定員（40名）を超える参加があり、講演並びにパネル共に好評であった。

フォーラム参加者及び呼びかけに応えた地元農業関係者からの参加が多かった。

　　　　（２）2018ワーク&ライフフォーラムin上越　収支報告書

　　　　　　　　別紙、報告書に基づき収支報告を行った後、指摘のあった交流会への当日不参加者３名が出たことについて、事務局確認が甘かったとの反省があった。

**2．2019にいがた協同集会の開催に向けて**

・武田氏より、プレ集会の取りやめに至った経過について口頭で報告があった。

・重野氏より、プレ集会のつまずきもあり当初計画した実行委員会方式での開催は厳しくなったのではないか、協同集会10周年として協同ネットが呼びかけるなど、やり方の再検討が必要ではないかと発言があった。

・江花氏より、JCAが誕生したことを受け、新潟においては提携協が新たな動きを模索すべきと考えるが、そのためにも中核組織である県生協連や提携協で協議を深めてほしい。これらの動向を踏まえ集会の準備を行う必要がある。

・齋藤氏より、2019年は全国の協同集会が11月末に計画されているほか、ワーク&ライフフォーラムが10月に新潟市で開催される。また、協同まつりは取りやめの方向であることから、にいがたの協同集会は夏季開催とならざるを得ないのではないか。

**3．協同ネット運営方法の見直しについて**

・月一回の運営会議で活動方針を検討しているが、2019年の協同集会開催を踏まえた活動の骨格論議を適宜検討する必要から、5名前後のメンバーで常任委員会を設置し協議する体制を整えるべく、個別に委員就任を打診することとした。

**4．その他、情報交換**

　＜シンポジウム等集会の開催案内＞

　　・「ワーカーズ被災地に起つ」試写会開催（11月7日クロスパル）並びにシネ・ウインドでの公開決定（12月8日～）について斎藤氏より情報提供があった。

　　・武田氏より、労協連本部主催の藤山浩講演会参加報告があった。

以上で第7回運営委員会を終了した。

次回運営委員会は、11月下旬に開催を予定する。

以上（文責:中村）